



—市民と学生の対話から生まれる学び—

市民参加型科目

市民参加型科目とは：

学生と市民と一緒に学び、
新しい発見を楽しむ科目

- 学生と市民と一緒に学ぶ
- 世代や立場を超えた交流
- 新しい気づきや学びが得られる
- 大学と社会をつなぐ



2026年度から新たに開講！

学生の授業に市民が参加し、ディスカッションを通して学びを深めます。
学生は社会の視点を、市民は若い考え方に触れながら、新しい気づきを得ることができます。

2026年度後期

場所

豊橋技術科学大学

豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

費用

教材費等授業に必要な費用

(授業ごとに異なるため、詳細をご確認ください)

定員

各授業5名程度

参加資格

- 18歳以上の方
- 授業を日本語で理解し、学生と対話できる方
- パソコンやスマートフォンなどの基本的な操作ができる方
 - Google Classroomを使用できる大学アカウントを発行します

参加方法

申込締切後、抽選により参加者を決定します。
結果はメールでご案内します。

募集要項・
授業詳細は
こちらから



申込期間

8.17月-9.14月

主催・お問い合わせ

豊橋技術科学大学 教務課ソーシャルインパクト創出支援事務室



tut-social@office.tut.ac.jp



0532-81-5182



<https://www.tut.ac.jp>

開講科目

2026年10月～2027年2月
2026年度後期

科目名	マーケティング論
担当教員	藤井 享教授
開講期間 開講日時 授業回数	2026年10月～2027年2月 水曜 2限（10:30-12:00） 全15回
概要	マーケティング戦略の概要を学びます。 「モノ」の消費から「コト」の利用に変化する時代の製造業のビジネスを検討します。

科目名	哲学対話論
担当教員	岩内 章太郎准教授
開講期間 開講日時 授業回数	2026年10月～2027年2月 水曜 2限（10:30-12:00） 全15回
概要	日常生活の中で感じる不思議や疑問から「問い」を仕上げ、それを他者と共に考えるのが哲学対話です。技術者を目指す学生たちと一緒に物事を探求するのは、刺激的な時間になるはこと間違いなし。予備知識は不要。ぜひ、お待ちしております！

科目名	産業技術政策
担当教員	宮本 弘之教授
開講期間 開講日時 授業回数	2026年10月～2027年2月 金曜 1限（8:50-10:20） 全15回
概要	産業技術政策は、イノベーション創出プロセスと、創出のための経済政策について学ぶ授業です。具体的には、「産業革命は、なぜ、イギリスで始まったのか?」、「企業が競争相手に自社の製品の仕様を公開することがあるのはなぜか?」などといったテーマについて学んでいます。 授業形式は、講義とチームディスカッションのミックスです。

科目名	哲学特論Ⅱ
担当教員	中村 大介教授
開講期間 開講日時 授業回数	2026年12月～2027年2月 金曜 1限（8:50-10:20） 全7回
概要	数学、文学、芸術、人類学などを参照しながら新たな哲学を構想する授業です。

下記の内容をあらかじめご了承ください。

- ・ 開講日時は、期間内で一部曜日が変更となる場合があります。詳細は表面の二次元コードよりご確認ください。なお、講師の都合により変更となる場合もあります。
- ・ 本授業では、試験や成績評価は実施しません。

参加の流れ

